

名称

やさしく詳しい  
ゼミガイド

目標

この社会に  
出て困らない  
様に...

コンセプト

敷居を低く  
図書館・先生・  
本人の心の壁

研究意識は  
高く

時期

対象

2年生(秋)  
ゼミ決定前の学生

場所

図書館

実施体制

ゼミ単位  
(学生・教員)

考えらる  
効果

質問しやすい  
環境をつくる

図書館員も  
研究や学習ニーズ  
を把握できる

チーム名 『 番』

8 班

# 新サービス

話しやすい場の提供

→ 学生中心に質問に答える  
職員・教員には質問の仕方  
がわかるようにしたい

交流する場の提供

自学・自習できる場の提供

ゼミ室での  
対話 (対話の場)  
(話しやすい環境づくり)  
→ 先生がアドバイザー

先輩のレポート  
見れるコーナー

## 講習会

- オナー -  
e-ラーニング  
化

PCの使い方

図書館の活用  
方法

メールの  
書き方 (ライティング  
センターの  
機能)

学生④保護者

→ 保護者がメールで相談  
入方式に有利な環境に  
働きながら利用可能な環境

スタンプラリー

教員との連携に  
よる、図書館ツールの  
利用ガイダンス  
(OPAC, DB, E-J)

コミュニケーションの場  
SNSでつながる  
→ 利用ガイダンス  
図書館のイベント  
とSNSの活用

図書館ツール  
利用ガイダンスの  
動画化 (質問の  
継続)

スマホ・タブレット

→ PCから利用でき  
スマホ・タブレットでも  
利用可能な環境

Cinii Articles  
からのOPACの  
使い方

講習物の講習会・  
イベント  
→ 修了証や認定証  
交換の場を設ける  
が目的

講習会の参加率UP  
教員からの案内  
者本人

講習会の実施  
レポートの書き方  
参考文献の調べ方  
初級院路から

8班



番

